

1、日時：2006/10/6(金) 13:30 ~ 16:00

2、場所：東北大学 電気通信研究所 2号館4階中会議室（片平構内）

3、出席者（敬称略）

委員長：大野栄一 幹事：松本栄寿 JC事務局：小林弘江

委員：四元勝一(Chapter Operation)、大宮学（札幌）、村岡裕明（仙台）、林秀樹（東京）、藤原修（名古屋）、白川功（関西）、島村和典（四国）、末次正（九州 原田耕介委員代理）

仙台支部よりの特別参加：水野皓司(Chair)、亀山充隆(Vice Chair)、中沢正隆(Secretary)、齋藤武夫(Treasurer)

4、議事概要

[1] JCHC発足の経過と委員の紹介

- ① 委員長の開会の挨拶に続き、各委員および特別参加の仙台支部役員が自己紹介を行った。
- ② JCHC 設立の経過を委員長より下記の通り報告。
 - 2006/3/13 JC 理事会にJCHC 設立を提案、2年の時限付ad hoc委員会として承認された。
 - 2006/4/5 各支部へJCHC 委員の推薦を依頼。 2006/6/5 各委員へアンケート依頼。
 - 2006/7/28 JC 理事会の活動計画書を提出し承認。 2006/10/6 第一回委員会開催。

[2] 運営方針と活動基本計画

Milestoneに焦点を絞って運営することが委員長より提案され、了承された。

[3] Milestone の申請プロセスについて

委員長より資料により説明。下記の質疑があった。

- ① 推薦について25年というのはどの時点からか？
 - 発明、開発、製品化などいろいろな段階があり、いつでも可。
- ② 推薦者は誰か？ → OU: Organization Unit であればよい。これまでの例を参照。
- ③ 誰の署名が必要か？ → 署名はSection Chairである。

[4] 受賞マイルストンの記録

- ① わが国の受賞6件につき説明。
- ② 世界のマイルストーンについて説明。全世界で受賞が決定した件数は 74となっている。

[5] 新しいマイルストーン候補テーマについて

- ① テーマの発掘・提案と JCHC の役割に関し、により説明。
 - ② Milestone 候補テーマを資料により説明し、次のような候補が話題となった。
 - 通信分野：依佐美送信所、ファックスG2/G3（画像電子学会）
 - エレクトロニクス分野：プラズマ・ディスプレイ（富士通）、CD（ソニー）
 - 電力・交通・生産システム分野：GIS（関電/東電）、自転車発電機（松下幸之助）
 - ③ マイルストーン選定の基準について下記の意見交換が行なわれた。
 - クオーツウオッチ：スイス天文台とセイコーが夫々の観点で受賞している。
 - 新幹線：大量輸送における安全性の実績が高く評価された。
 - VHS：ベータより商品化は1年遅れであるが、世界標準に成長した実績を評価された。
- * 必ずしも世界初でなくても、その地域(日本)で貢献したことや、技術の普及への貢献が評価される。

[6] **IEEEヒストリセンターの説明**（松本幹事）

今夏(8/7) に訪問した際のスライドを使用して、同センターの概要を説明。

5. その他

① 構内関連施設の見学

- ・ 会議の開始前に「八木アンテナ マイルストーン碑」を見学。
- ・ 会議終了後に「記念資料室」を訪問。 「八木・宇田アンテナの実験装置」、「交流バイアス方式による磁気記録装置」、「陽極分割マグネトロン」の実物が展示を見学。

② 懇親会

- ・ 委員会終了後、仙台駅前の「アジュール銀禅」において懇親会を行なった。

③ 要手配事項

- ・ 信越支部への委員選定依頼。
- ・ Japan Council Home Page への JCHC Home page 開設の検討。

以上